



TEAM NEXT YONEZAWA

自然あふれる米沢で無農薬の 美味しいお米を作りたい

安永元年(1772年)、第9代米沢藩主上杉鷹山公は財政難の米沢を救うため、藩主自らが田を耕す「**藉田の礼**」を行い、農耕の大切さを藩民に伝えました。現在、この儀式は上杉神社の祭事「**藉田のお田植え祭**」として継承されています。この田植えで苗を植えるのが**米沢米の会**の皆さん。完全無農薬・低農薬の米作りに取り組み、同会で生産されたお米「**上杉藉田米**」を販売しています。

(米沢米の会の設立経緯を会長の佐藤さんに伺いました。「昭和56年に仲間と米作りの研究会を立ち上げたのがきっかけです。化学肥料に頼った生産が主流だった当時、健康を損なわずかつ美味しいお米を作りたいと感じていました」。若手農家8人が集まり、農薬を使わない米作りに着手。土壌微生物を利用した土づくりを基本として、稲の健康を重視する栽培法にたどり着きました。

昭和63年、農業を尊ぶ鷹山公の気持ちにならい、会の生産米に「**上杉藉田米**」と名付け、商標を登録しました。以来、農薬を使わない米作りにこだわり続け、今では全国の個人消費者や東京の大手卸売店に販売しています。また、米沢米の会では「**上杉藉田米**」の定期購入者を対象とした交流会も開催し、消費者とのつながりを大切にしてきました。さくらんぼ狩りや芋煮会には、関東圏を中心に数多くの方が参加し、とても好評だと言います。

佐藤会長に今後の意気込みを聞きました。「長年お付き合いのあるお客様から手紙をいただくこともあり、非常にありがたいと思います。現在、米農家が少なくなっている状況ですが、消費者の方からの感謝の言葉を原動力に、メンバーと協力しながら活動していきたいです」。

完全無農薬米・低農薬米を生産する

株式会**米沢米の会** (塩井町)

昭和56年設立。会長の**佐藤 清一**さん(写真左下)、**佐藤 了**さん(写真右下)、**大木 拓**さん(写真左上)、**渡部 栄次**さん(写真右上)を含む7人で、農薬を使わないお米作りに尽力している。



「米沢品質向上運動」とは

本市では、挑戦と創造のあかし「米沢品質」をスローガンに掲げ、商品だけではなくサービス・観光・文化・行政など、様々な領域の「挑戦と創造」を喚起し、付加価値を高めていくことを目的に「米沢品質向上運動」を展開しています。本市のブランディングに賛同し、この運動に参加するプレイヤーが「TEAM NEXT YONEZAWA (TNY)」です。(5月14日現在、116の企業・団体・個人が登録)

